

<h1>伸びゆく子</h1>	栗東市立大宝東小学校だより No.11 令和6(2024)年1月9日 児童数 366名 心あたたか活気みなぎり、仲間と共に伸びゆく子
	(だ)れにでも優しい子 (い)きいき学ぶ子 (う)ととつながる子 (が)んばりぬく子

令和6年(2024年)の年頭にあたって

中川 章子

3学期が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに対しお礼申しあげるとともに、新しい年の始まりに際し、引き続きお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

今年のお正月は、能登半島を中心に大きな地震が発生しました。被災地では余震が続き、多くの方が避難所等で不安な日々を過ごされていることに胸が締めつけられる思いです。被災されました皆様には心からお見舞い申し上げます。また、救助や復興支援の最前線でご尽力されている方々に深く敬意を表します。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

今年の大宝東小学校は…みんなで目指したい「ウェルビーイングな学校」

本校の児童やおうちの方々にとって、大宝東小学校はどのような学校なのでしょう。この問いのもと年末に実施しました「学校教育に関するアンケート」では、たくさんのおうちの方からご回答をいただきありがとうございます。本校での生活がどの人にとっても実りあるものとなるよう、アンケートの結果をしっかりと受け止め、改善点等を検討してまいります。いただいたご回答やご意見等には、お客様の現在と未来において幸せな人生を歩んでほしいという深い思いと願いが込められていました。「ウェルビーイング(Well-being)」—寄せられたご回答やご意見から、この言葉が思い浮かびました。ウェルビーイングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること」をいいます。また、これは、個人だけでなく個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含むそうです。アンケートの結果を踏まえると、この先、本校が目指すべき方向として大事なキーワードになりそうです。

さて、このウェルビーイングな学校を実現するための手がかりとして、本校のある先生が、興味深い本を紹介してくれました。それは、「99%の小学生は気づいていない!?ウェルビーイングの魔法」(Z-KAI)です。この本は、4人の子どもたちの冒険の旅を通して、「自分で幸せを作り出す方法」を伝えてくれます。この本によると、ウェルビーイングを実現するためには、「やってみようの心」、「ありがとうの心」、「なんとかなるの心」、「ありのままにの心」の4つの心が必要なのだそうです。読めば、1学期からお子様たちがおうちの方や地域の皆様と一緒に取り組んできたことがたくさん出てきました。誰もが幸せや豊かさを感じられる学校にしていくためには、子どもも大人もかなりの努力が必要であろうと思いますが、これまで本校が大切にに取り組んできたことやお子様たちが自ら考え実行してきたことをもとに、より一層「自分も周りの人も幸せな状態でいられるにはどうすればよいか…」という人生において大切な問いについて考え、良いと思ったことは挑戦してみることで「ウェルビーイングな学校」への近道と言えるのではないかと思います。学年末まで残すところ3か月となりました。先の問いをお子様たちとともに考え、実行することで「ウェルビーイングな学校」になるよう職員が一丸となって取り組んでまいりたいと思います。



今年最初のぼかぼか掲示板

今後の主な行事


- 1月 9日(火)3学期始業式 3時間授業
- 1月 10日(水)給食開始 5時間授業
- 1月 18日(木)くりちゃんたしかめテスト
- 2月 2日(金)入学説明会 AM
- 2月20日(火)学習参観
 - ②1~3年生 ③来年度の日課についての説明会
 - ④4~6年
- 3月 1日(金)6年生を送る会
- 3月18日(月)給食終了 4時間授業(5年生以外)
 - 卒業式前日準備⑤⑥(5年生)
- 3月19日(火)卒業式
- 3月22日(金)修了式 3時間授業

「チームだいひが」紹介

~新しい先生を紹介します~

やまざき だいぢ

山崎 大智



3, 5, 6年生の書写、4年生の体育などの授業を担当します。よろしくお願いいたします。

<お願い>

お家で読まなくなった児童図書がありましたら学校に譲っていただけるとありがたいです。学級文庫として活用させていただきます。